特集

左馬神社

～さばじんじゃ～

～境川流域に密集するサバ神社について考える～

4　七サバ参り

今日確認できるサバ神社で「七サバ参り」伝承が残されているのは、このルートです。

境川左岸～和泉川沿いに下ったルート

上和田→瀬谷→上飯田→神田→中の宮→下飯田→鍋屋

境川沿いに両岸を下るルート

瀬谷→上和田→下和田→上飯田→高倉→下飯田→今田

このルート以外にも石川（引地川沿い）のサバ神社を含む場合も伝えられているので、自分の出発地点より、一日工程で巡ることが出来る神社を選び、お詣りしていたように思われます。実際㊂のルートを歩きましたが、約三時間二〇分で踏破できました。

しかし、明治・大正時代に盛んであった頃に比べ、道路事情の事を考えれば五時間ほど掛ったのではないかと思われます。

「七サバ参り」は明治時代の日清・日露戦争に対する先勝祈願や子供が疱瘡・百日咳、はしかなどの流行病にかからないように子供を背負ってお参りしていたそうです。

現在は、この七サバ参りも衰退していますが、天明年間（一七八一～八九）に盛んになった〝七福神参り〟の影響を受け、幕末以降に行なわれるようになったようです。

新年あたりに〝七サバウォーク〟でも皆さんしてみてはいかがでしょうか？

おわりに

境川流域に密集するサバ神社。郷土史の研究者にも注目されている神社でありました。

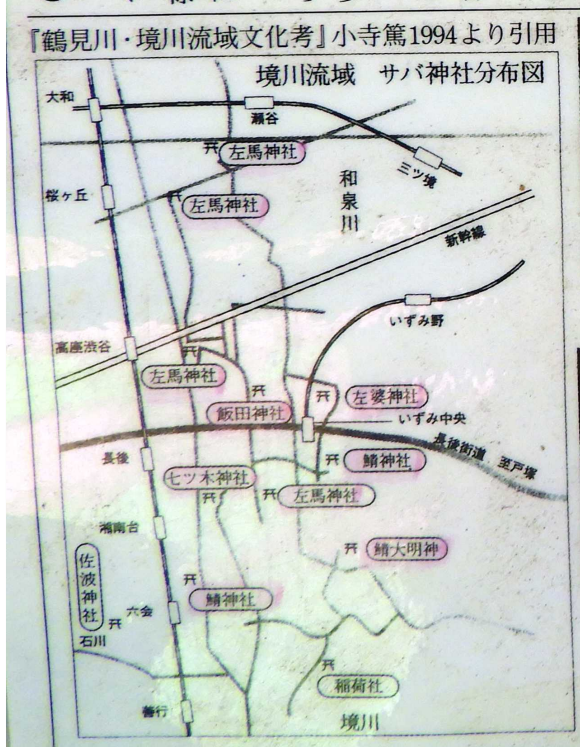
まず、水の神と田の神が合わさり、鯖の字を当て、そして源義朝を祀る事となり、ご利益を求めて七社のサバ参りを行なうようになったのだろうと思います。

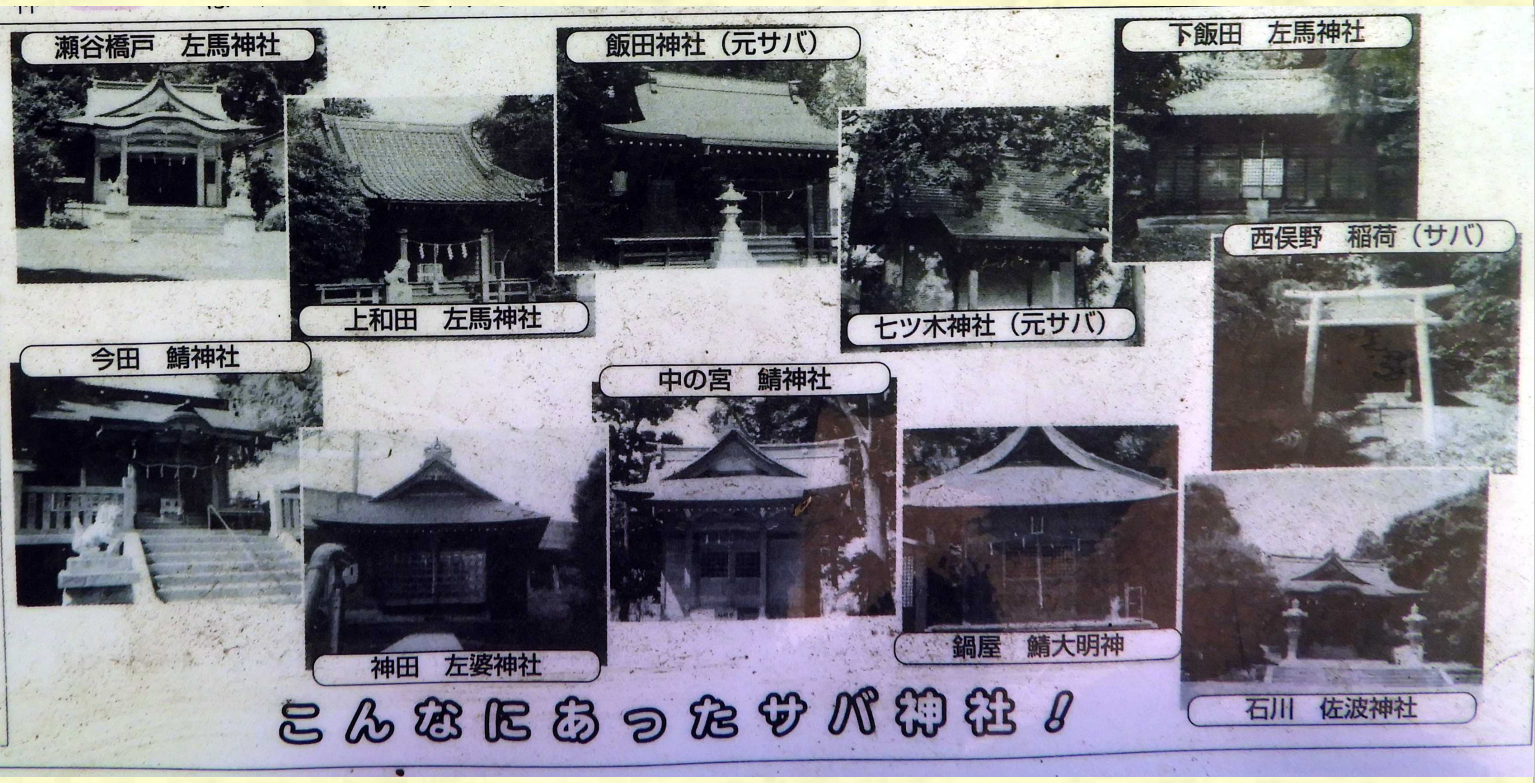
今年の初詣も鯖神社に〝さくらぷら〟ざ〟の利用者様を連れて、健康を祈願したいと思います。（文責桜井）

みなみやまと

平成17年1月25日の記事を再録したものです

『鶴見川・境川流域文化考』小寺篤1994より引用





相州下和田

さばじんじゃ

左馬神社

下和田左馬神社